

## 車輪脱落事故防止についてのお願い

近年、ホイール・ボルトの折損等による大型自動車の車輪脱落事故が増加しています。

平成30年度の大型自動車（車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス）の車輪脱落事故の発生件数は81件（うち人身事故は3件）と3年連続で増加しており、また前年度に比べ14件増加しています。特に11月から2月に54件（全体の約66.6%）発生しており、大型自動車の車輪脱落事故は冬期に発生、また左後輪に多く発生する傾向にあります。

原因としまして、ホイール・ナットの不適切な締付け（トルク不足など）や、ホイール・ボルト及びナットの経年劣化が疑われるものが多くを占め、又車輪脱着作業後1か月以内での発生が50件（全体の約61.7%）を占めていました。

運行前やタイヤ交換作業等にあたっては、著しく錆びたホイール・ボルト、ナット、ディスク・ホイールでは適正な締付け力が得られないため、点検・清掃を行っても錆が著しいディスク・ホイールや、スムーズに回らないボルト、ナットは交換が必要です。

車輪の脱落は、人命に係る重大な事故を引き起こすおそれがあります。

つきましては、「車載の取扱説明書」や「合言葉は、おちない」「ストップ！！ザ・車輪脱落事故」、「トレーラのホイール・ナット締付け要領について」を参照していただき、下記の4点を徹底し事故の無いように運行をお願い致します。

1. ホイール・ナットの規定トルクでの締付け
2. タイヤ交換後、50～100km走行後の増し締め
3. 日常（運行前）点検での確認
4. 専用ボルト及びナットの使用

\* 関連資料

- ・ 合言葉は「おちない」…大型車の車輪脱落を防ごう [PDF/658KB]
- ・ 「ストップ！！ザ・車輪脱落事故」…大型車の車輪脱落事故ゼロへ [PDF/2.19MB]
- ・ トレーラのホイール・ナット締付け要領について [PDF/197KB]

以上